



大ヶ口災害公営住宅

東日本大震災の震災復興現場において真摯に景観デザインに取り組み、木造和風住宅として第8回「地域住宅計画賞(作品部門)」を受賞した大ヶ口災害公営住宅。

応急仮設住宅という概念を吹き飛ばすような真壁風の壁から柱材がのぞくモダンで落ち着いた「和風デザイン」の住宅は大槌町の「よい町をつくりたい、故郷として愛せる町にしたい」という強い思いが形になったものです。山の稜線に合せ瓦をイメージした金属瓦の切妻の大屋根が街並に安定感をもたらし、各住居の南側につくられた縁側が歩行者と住居者のコミュニティを生み出します。

お住まいの方が生活しやすいように段差を抑制するジョイントシステム工法で施工される透水性舗装材を採用いただきました。

■ ペイブロック



webカタログもご覧下さい





レトロモダンな井戸

大ヶ口災害公営住宅



もしもの地震に強い
地震災害に備え、震災前対策や軟弱地盤上の道路盛土の不同沈下対策が必要になります。

●地震液状化対応検証

液状化した路盤を再現する為にブロックをフレームで拘束、中継り状態でどこまでの荷重に対応できるか検証しました。



※荷重の増加に合わせて、中央は変位が大きい為、ブロックの傾斜が確認されています。
※下部の盛土は、液状化の発生により、傾斜した状態で液状化が確認され、傾斜した状態で液状化が確認されています。

従来の平板ブロックの場合



20kg

液状化によって路盤が傾斜・沈下し、ジョイント機能のない従来舗装は、多量の変位が確認となります。

ジョイントシステムの場合



200kg

※ジョイント機能のない従来舗装は、20kgの荷重で、崩壊しました。

液状化によって路盤が傾斜・沈下しても、ジョイントシステムが舗装面を一体化、ブロックの設置を維持し、安全な避難経路が確保できます。

※材料10個(200kg)を乗せても、ブロック変位の妨げは発生しませんが、確認は行っています。

■段差抑制工法—ジョイントシステム工法



側面にジョイント溝加工した舗装ブロックに特殊ジョイントパーツ(JSパーツ)を入れ連結することにより、施工時や経年変化による段差を抑制します。

■ペイブロック



webカタログもご覧下さい

現場住所 岩手県大槌町大ヶ口地内
 施主名 大槌町
 受託 UR都市機構
 竣工年月 2014年10月

納入製品 ① シント(JS) : 558㎡ Nホワイト、Rグレー、Nピンク
 ② SAZARE(JS) : 479㎡ 御影、霞
 ③ FS(JS) : 1415㎡ キャメルイエロー、ミカゲ
 (JSとは特殊ジョイントパーツのことです。)